



三重電気会報

平成13年1月発行 第86号

新年あけまして
おめでとうございます

本年もよろしく
お願い申し上げます



神島の正月風景大漁旗（鳥羽市）

年頭所感



三重県電気工事業工業組合

理事長 植田 昇

新年あけましておめでとうございます。

会員皆様には、ご家族お揃いで新世紀の新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、昨今のわが国の経済状況は、平成不況が長引く中、一部のIT産業には、回復の動きはあるもの全体として弱含みで推移しております。また、個人消費は、引き続き低調と相変わらず先行き不透明感を払拭できない情勢が続いております。

私達電気工事業界においても、民間設備投資の抑制、

出等経営革新に取り組みとともに営業形態も、より需要家の立場に立った提案型営業が必要不可欠であります。

これを踏まえ、我が三重県工組と致しましては、昨年来、経済委員会が組合情報化推進事業の一環として事務局のインターネット化を推進し、総務委員会がこれに携わる事務局職員の勉強会をバックアップし、組合員への情報提供・各種申請等、諸サービスの向上・事務省力化を進めております。

技術委員会は、デジタル三種の受験準備講習会を始めBSデジタル講習会、LAN工事講習会、第一種電気工事士受験準備講習会等を実施し、多くの組合員・従業員の方が積極的に出席し、勉強されました。

また、厚生委員会は、福

利厚生を通じて、共済に寄与し、広報委員会は、会報を通じてより良い情報の提供を致しております。

さらに、本年は、「新しい仕事づくり」として一般用電気工作物調査業務への参入を計画し、十三年度には、申請、組織を挙げて準備を進めてまいります。

二十一世紀型のビジョンとして、先に述べましたように電気通信が一体となった設備、高齢化社会や環境問題に配慮したバリアフリー工事、リニューアル工事等を含め、これに対応できるよう新技術の習得に向け各種講習会の開催等その環境づくりと新しい仕事づくりを目指し組合発展のために努力を傾注しなければならぬと考えております。

また、これがため、出来るだけ早期に新会館を建設し、高度情報化社会のニ

ズに対応出来るよう新技術の取得講習会や各種研修会場として組合員皆様を活用し、役立てていただきます。計画をしております。

ただ今、三重県工組は、委託工事ゼロ災害が続いております。これを更に継続し事故のない素晴らしい一年を送っていただきたいと思っております。

最後に、会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念致しまして新年のご挨拶と致します。



新年のご挨拶



中部電力株式会社
取締役三重支店長
木下 昭一

新年明けましておめでと
うございます。

会員の皆さまにおかれま
しては、ご家族お揃いで、
健やかに新年をお迎えのこ
とと、心からお慶び申しあ
げます。

旧年中は、私ども電気事
業に格別のご支援とご理解
を賜り厚くお礼申しあげま
す。

とりわけ、平素より皆さ
まのお世話になっておりま
す深夜電気温水器やエコア
イスなどの普及拡大につき
ましては、皆さまのお力添
えにより順調に推移してお
ります。特に、オール電化
住宅の採用戸数につきまし
ては、昨年三月に弊社管内
で十万户の大台に乗り、そ

の後も増加を続けておりま
す。誠にありがとうございます
ました。

また、昨年十月には、電
気料金を平均五・八%値下
げさせていただくことも
に、オール電化住宅の更な
る普及を目的に、Eライフ
プランを始めとする新しい
メニューをご用意させてい
ただきました。本年も引き
続き負荷平準化活動にご支
援賜りますようお願い申し
あげます。

次に、芦浜原子力立地計
画につきましては、長年に
わたりお力添えをいただき
てきたところでありますが、
残念ながら、昨年二月二十
二日に三重県知事の「白紙
表明」を受けて、断念する

形となりました。

しかしながら、三重県知
事の発言にもございますよ
うに、地球温暖化などの地
球環境問題も考え合わせれ
ば、原子力発電の必要性は
いささかも変わるものでは
ありません。

また、サイクル事業にお
きましては、十月十二日に、
青森県・六ヶ所再処理工場
への使用済燃料搬入に係わ
る安全協定が締結されるな
ど、新たな胎動も始まって
おります。今後、地道な
理解活動を展開して参りま
すので、従来どおりのご支
援を賜りますようお願い申
しあげます。

さて、新世紀を迎えるに
あたり、過ぎ去った二十世
紀を顧みますと、荒廃した
戦後の混乱期を背景に、電
気工事に携わる会員の皆さ
まと弊社とが一致協力し、
良質な電気工事を遂行し安
定的に電気をお送りするこ
とを目的に、貴会と弊社の
協力関係が始まりました。

会は、戦後の復興期から高
度経済成長期を経て大きく
変貌し、二度にわたる石油
危機を巧みに乗り越え、世
界に類を見ない発展を遂げ
てまいりました。

その間には、昭和三十四
年の伊勢湾台風襲来時や平
成十年の台風七号襲来時の
復旧対応など、ある時は手
を携えて苦難の時期を乗り
越え、ある時はともに発展
の礎となって経済成長を支
え、会員の皆さまと弊社と
は車の両輪の如く協力関係
を維持してまいりました。

一方、新世紀におきまし
ては、エネルギー間の垣根
を超えた大競争時代の到来
が予想されます。

昨年三月には、電力の小
売り自由化が開始され、商
社系のダイヤモンド・パワー
が通産省の電力落札を八月
に行いました。

幸いにも、弊社管内では
全てのお客さまに弊社を選
択いただきましたが、本年
度以降は、外資系のエンロ
ンやガス会社・NTTなど

の他業界が電力小売り市場
へ本格参入することが予想
され、弊社にとりましては、
まさしく正念場の年となり
ます。

弊社といたしましては、
更なる経営効率化を遂行す
ることにより、引き続き、
お客さまに選択される会社
を目指すとともに、過去に
培って参りました会員の皆
さまとの信頼関係をもとに、
新たな協力関係を構築して
参る所存でございますので、
今後とも倍旧のご支援とご
鞭撻を賜りますようお願い
申しあげます。

最後に、新世紀を迎え、
貴会ならびに会員の皆さま
とご家族さまの一層のご発
展とご多幸、そして安全を
祈念いたしまして、新年の
ご挨拶とさせていただきます
す。



建設業許可を取得しよう!

広報委員 吉田重三

一件の工事の請負代金の額が五〇〇万円以上である建設工事（建築一式工事）については一五〇〇万円以上の完成を請け負うことを営業とするには、建設業法第三条に基づき許可を受けなければなりません。

受注者から直接建設工事を請け負う元請人はもちろんのこと、下請負人の場合でも、請負として建設工事を施工するものは、個人であっても法人であっても、この許可を受けることが義務づけられています。建設工事は、請負契約の当事者間だけでなく、社会経済上も重要なものであるため、適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業界の健全な発展を図って公共の福祉に寄与するため、昭和四十六年の建設業法の改正により、許可制が

とられました。

土木一式工事及び建築一式工事と、ほか二十六種類の専門工事の業種別に建設業者の要件が審査され、その要件に合う者のみが、建設業を営むことができるのです。

建設業許可を取得したからといって、急に仕事が増えるわけでも、大きな仕事が増えるわけでもありませんが、現実問題として許可を取得しているという事は、経営力・技術力について一定の基準に達しているという点で評価され、社会的信頼を得ることが出来ます。例えば、一式工事を受注した大手の建設業者が専門工事部分をそれぞれ下請けに出すという場合、発注者が官公庁である場合ももちろんのこと、そうでない民

間の場合でも、許可取得業者でなければ下請負に使用しないというのが、常識になりつつあります。さらには、経営審査受審を義務づける大手企業も増加しつつあるのが現状です。

また、不況に伴う建設業者の倒産等、思わぬ被害から身を守るため、許可建設業者の経営力や技術力、工事経歴等を閲覧する県の情報公開を利用する人も増えていけると聞きます。

このように建設業許可というものの社会的信頼度が高まるにつれ、許可そのものの審査も厳密になってきています。

許可要件の一つである経営業務の管理責任者に関する証明資料について、個人事業主が新規許可を申請する場合については、これまでの同業者の証明だけでなく、申請直前五年間（又は七年間）の所得税確定申告書（控）の原本を提示することが要求されるようになりました。

今後、許可についての審査はより厳格になってくるのが予想されますので、早い時期に要件を備え、許可を取得することが得策だと思います。

建設業許可には、一般建設業と特定建設業、知事許可と大臣許可に大きく分けられ、更に二十八業種の許可があります。それぞれに許可の要件が定められていますので、自己の保有する技術能力・経

営経験等に対応する業種に当てはめて考えてみるとともに、将来施工しようとする種類の建設工事、発注者の業種選択の動向などを総合的に勘案して許可を受けられるとよいでしょう。詳しくは、行政書士等に相談すると、各申請者にあった説明をわかりやすく受けることができ、申請書類の作成及び申請代行まで依頼することができます。

建設業許可の取得現況

各支部2割アップを目標に! 12.12.1現在

支部	取得事業所数 (%)	支部	取得事業所数 (%)
津	41 (48.2)	志摩	14 (28.0)
久居	22 (56.4)	四日市	68 (53.5)
上野	25 (37.9)	富田	11 (47.8)
名張	12 (32.4)	桑名	23 (54.8)
松阪	44 (38.3)	員弁	8 (21.6)
大台	12 (35.1)	鈴鹿	20 (42.6)
尾鷲	13 (32.5)	龜山	13 (35.1)
伊勢	46 (41.1)	合計	381 (42.5)
鳥羽	9 (52.9)		

第17回電気工事業

全国大会開催

九月二十九日、秋晴れの札幌市内「ロイトン札幌」に於いて来賓・組合員等一、六〇〇余名が参加し盛大に開催された。

我が組合からは、植田理事長始め副理事長、青年部長等々の七名が参加しました。

「新世紀に向かい試される大地・北海道から新しい発想を」をメインスローガンに三つの大会決議とともに自由化に伴い電気保安の推進・確保に組織を挙げて取り組むことを決定し、まさに我が業界にとって転機となる大会となりました。
午後十三時から記念講演会が行われ講師として北海道大学教授の熊田俊明氏によりテーマ「地球環境とエネルギー問題」について講演された。
講演の内容等につきまし

ては、十一月発行の全日電工連新聞に掲載しております。

次いで午後十四時三十分からは、大会式典が行われ以下の大会決議がされた。

中部電工連

第26回経営セミナー開催

平成十二年十一月十六日・十七日の二日間にわたり長野県松本市に於いて中部連合会経営セミナーが開催

され三重県工組からは、植田理事長始め十五名が出席、総勢百二十余名が出席し、盛大に実施されました。

一日目は、全日電工連副会長の徳住一郎氏による「一般用電気工作物の調査業務」の経緯と現状、今後

一、新しい業界ビジョンのもと思い切った発想の転換
二、新技術・新分野への果敢な挑戦で事業を拡大
三、メンテナンス業務の再認識と電装家の立場に立った提案型の技術営業の展開

午後十六時十分からは、懇親会となり和気あいあいのうちに終了しました。

の取り組み等について講演を拝聴しました。

二日目は、分科会討議が実施され、第一分科会メインテーマ「新しい仕事づくり」について上野支部 石原理事が意見発表を行いました。第二分科会では、青年部が実施、三名が出席しました。

石原理事は、自分の体験を交え、「提案型営業への発想の転換と新技術・新分

野への果敢な挑戦について」熱弁をふるい意見発表していただきました。

最後に各分科会が一同に会し、座長により各会の意見をまとめ、この貴重な意

見を明日への糧として新たな出発を誓いました。
なお、セミナー全意見書を各支部事務局で保管しておりますので参考にしていただきますと思います。

広報委員会・取材報告

十月十七日、川瀬担当副理事長・織田広報委員長始め十二名が伊勢支部を訪問し、職長教育の実施現場及び伊勢支部運営等について取材を実施しました。

職長教育は、十六日・十七日の二日間にわたり中部

電力㈱伊勢営業所のトレーナーにより教育が実施され二十六名の二十一世紀を担う若き後継者達が「職長としての安全衛生の職務と心得等」について熱心に勉強



職長教育 (グループ・ワーキング)

(6面へつづく)

(5面よりつづく)

しました。
十二時間の講習を修了し、全員に「修了証明書」が発行されました。

次に支部運営等について植田支部長より説明を受けました。また、本部からの事務連絡の伊勢支部事務局における組合員(会員)へ

技術委員会・研修報告

十月五日、小野副技術委員長始め十六名が松下電器保養所に於いて新技術研修を実施しました。

松下電器産業㈱の薮花課長・電材照明営業部松田主事・インターホン営業部福井氏に講師をお願いし、「燃料電池の動向と商品概略」「ランプメンテナンス事業」「ホームセーフティステーションを基軸とした住宅の情報化」について研修しました。

現在、省エネルギー設備工事など新しい形の需要が急速に拡大しつつあるなか

の周知状況について確認しました。周知事項毎のタイトルに併せ印刷物の用紙の色分けにより内容がわかりやすく、整理等がしやすく工夫されていた。

取材終了後、その場をお借りし、委員会を開催、会報八十六号(正月号)の発行について審議しました。

経済委員会報告

経済委員会では、情報化推進事業の一環として、予てからの念願であった本部と各支部間のインターネット構築の実現に向け支部へのパソコン設置を完了しました。

年度当初から委員会にお

厚生委員会・研修報告

十一月十四日、三井厚生委員長始め三十四名(内講師二名・事務局職員十五名)が福利厚生事業研修の一環として東海電友共済会制度の研修会を伊勢市にある三重厚生年金休暇センターに於いて実施しました。

講師は、東海電友共済会の塚本事務長・山岸担当にお願いし、災害補償共済・退職共済等の事務処理及び共済規約等について勉強しました。

今後は、更に組合員(会



東海電友共済会研修

員)の皆様の災害補償等事務手続についての確・迅速

事務処理を開始しました。

なお、これに先立ち総務委員会と連携し、事務局職員のパソコン操作等勉強会をすでに実施しておりますが、今後は、インターネット構築に併せ更なる勉強会を計画し、事務処理の迅速・的確化、省力化に努めていきたいと考えております。また、これをベースに組合全体のインターネット構築に向け研鑽努力していきたくと考えております。

**なくそう
誤 結 線**

厚生委員会

事故による保険金の支払いは、保険会社の資金ではなく、皆様方の掛け金の中から支払われています。

に対応していきけるよう努力するとともに各種共済への加入促進についても力を入れていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。
また、併せ、厚生委員会を開催し、国民年金基金加入促進及び第三者損害賠償保険等について審議しました。



不況の免疫をえるため

上野支部(S16年生)

海津勝司

新世紀を迎えお慶びを申し上げます。

ある小誌で開業医が今年で二十七年目、一日も診療を休んでおりませんし、一度もインフルエンザになっておりません。私に限らず医者はインフルエンザになりにくいのです。とありました。それは何故でしょうか。理由は簡単で、インフルエンザの流行期になると、医者は居ながらにしてその時期に流行しているウイルスに対する確実な免疫をえられるので、発病しないと

我々は今、不況と言うインフルエンザにかかっています。また、かかろうとしています。今、身につけている免疫は、高度成長時代バブル時代に付けた弱い

ウィルスの免疫で昨今の不況インフルエンザには効き目が無く真正面から強力な今のウィルスに対する確実な免疫を持って新世紀を頑張っていきたいものです。本年もよろしくお願い致します。

今年の抱負

名張支部(S28年生)

松生修

新年、あけましておめでとうございます。年頭にあたり、今年の抱

負を、ということ、一言述べさせていただきます。

この年になりまして、いろいろ勉強は、つきものです。ワープロは少しできるようになりました。パソコン、インターネット、などにも、機会があれば、挑戦をしてみたいものです。

日々、新しくなっていく、ハイテク機材、省エネルギー、セキュリティシステム、インターネット配線にもついていかなければ、なりません。

毎日が、勉強の日々です。最後になりましたが、二〇〇一年は、組合員の皆様のご健康と景気回復をお祈り申し上げます。

われら年男

松阪支部(S28年生)

奥野敏彦

新年あけましておめでとうございます。今年、年男で四十八歳に成ります。人生の折り返し点を通過しまして、そんなにも生きてきたのかと、

ふと思う今日この頃です。

気持ちでは、二十歳のときとあまり変わらないと、思っていますが、身体がついてこないのが現状で、年かな、年はとりたくないなあと思うのです。

少しは、丸みが出てきたかな、人間として五十年の歳月が身につけてきたかな、と思うけれど、ガンコで職人堅気はぬけないみたいです。

昨年は、一流企業でもちよっとしたこと、信用を無くし、多くの従業員や関連会社の人々の生活を変えてしまおう、そんな光景を見て、考えさせられた年でした。

やはり相手の立場に立った仕事やサービスが、これから大切にされる時代、本質の間われる時代だと思います。

一度失った、信用はなかなか取り戻せません。二〇〇一年は、二十一世紀は、どういうことがまちはうけているのでしょうか。

この不景気を乗り越えて、安定した仕事、生活ができるよう頑張らましよう。

巳年は、金銭で潤う年でありますよう、今年こそ景気が上昇する年であって欲しいものです。

二十一世紀を迎えて

鳥羽支部(S28年生)

三谷光一

組合員の皆様方、新年あけましておめでとうございます。

本年は二十一世紀を迎え、また年男であるということ、好機を期待して、良い年にしたいと思っております。

開業して、二十年余り、過去を振り返って見れば、毎日、毎日、ガムシヤラに仕事に追われながら、今日迄やって来ましたが、皆様ご承知の通り、ここ、三、四年、不況が続いております。この不況を、二十一世紀を迎える事で、ふきとばして行ける様に、日々努力していきたくと思っています。

す。

本年は二十一世紀を迎えると共に、わが家では、親子三代の年男です。何か節目の年に当たっている様な気がしています。

これからは、電気工事業も、技術の進歩、科学の進歩、驚くほど、何もかもが進歩して、人々の生活に密着している時代ですので、毎日が、自分に対しての勉強のつもりで、何事にも挑戦し「人生これからだ!!」という気持ちを持って、やっていきたいと思えます。今後とも、一層のご指導を賜りますよう、よろしくお願ひします。

二十一世紀を迎えて

四日市支部(S40年生)

伊東克浩

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年は二十一世紀最初の年であり、また私にとって三回目の年男三十六歳を迎えることになりました。

(7面よりつづく)

私が電気工事の業界に携わるようになり十四年の歳月が経過しました。入社したのが昭和最後の年(六十三年)でバブル経済絶頂期でもありました。

そして時代は平成へと移り、バブル崩壊以降は戦後最悪の経済不況が続いており、我々の業界においても官公庁工事が減少し、民間設備投資も依然として低迷を続けており、受注競争の一段の激化と工事採算が更に悪化する等厳しい事業環境となつています。

しかし社会情勢はまだまだ厳しいものの、景気回復の足掛かりをお蔭で先行き明るさが見えてきたかと思えます。今年は景気回復の足掛かりを実感するかと期待しています。

新世紀になり思うことは百年前二十世紀が始まった時には日本で電気というものは大都市でごく一部電灯として使われていただけでした。いかにこの百年で私達の生活が変わったかと、あ

る意味では二十世紀は電気の世界だったといえるかもしれませぬ。

そういうなかで二十一世紀を迎え大きな変革の中で、私は必ず新しいニーズが出てくると思えます。そしてそれらを我々業界全体で取り組むことよって二十一世紀を飛躍あるものになると期待しております。

最後になりましたが、今後ともなお一層の御指導を賜りますよう宜しくお願ひ致します。

まだまだ頑張ります

富田支部(S28年生)

佐藤健一

二〇〇一年、新年明けましておめでとございます。

二十一世紀最初の年男になり今世紀に期待しています。自分でもふと気がつくのと、今年で四十八歳になります。電気工事という職業に携わり、二十九年が経ちました。まだまだ若い気持ちで現場へ出ています。二十九年間いろいろな事

がありました。材料、工具、技術の進歩に伴い施工時間の短縮簡素化、時代の流れに取り残されないうよう、毎日が勉強です。私も、長年勤めていた会社を、昭和六十一年に退職したのが三十三歳の時でした。バブルの最盛期ガムシャラに働きました。

平成五年に会社を設立し、翌年小さいながらも、事務所を構える事ができました。そのころからです、ふと気がつくバブルは弾け、有頂天に成っていた私に、借金だけが重くのしかかってきました。持ち前の負けん気の強さと、プラス思考、又私の口癖「なんとかなる」と言いながら生きてきました。

二十一世紀を迎え、電気工事という業界しか知らない私、四十八歳まだまだ頑張ります。

二十一世紀、組合員の皆様方も、この不況を乗り越え、より一層の飛躍をする事を願います。

良い年にしてください。本年もよろしくお願ひします。

我半生を振り返り

桑名支部(S28年生)

三上忠彦

工事組合より突然の電話で年男の執筆を依頼される。年男と聞きあまり気にしなかつた年齢を急に意識する。

この頃は自分の誕生日を祝ってもらおうという風習も家族の中から失われ、数日過ぎて気づく事も珍しくない。病院などで名前を書いた後で、考えこむこともしばしばである。

四回目の年男を迎えるのかと感慨にふけり自身を振り返ってみる。

私達の若い頃は十年が一昔と言ったが、この頃の若者は一年一昔と言うそうだから今から書こうとするとは若者にとっては大昔の話と笑われてしまうかも…。電気工事の仕事に従事す

(9面へつづく)

(8面よりつづく)

るきっかけは、高校で電気科に通っていただけの理由で紹介してもらい、とにかく古いことを言うようだが、石上三年「まず三年間は頑張ろう」と思い就職する。何回も転職を意識したが、指導して下さった番頭さんが良い方で、温厚な性格で仕事内容も丁寧な人で、叱られながらも三年間が過ぎ、仕事先の方々と顔馴染みとなり仕事が面白くなり始める。

四年目位から自分の現場を与えられて仕事に追われているあいだに、二度目の年男となり二十六歳で暇を頂き、小さな事務所を構える。

自分で仕事を始めるが、途中オイルショックや得意先の倒産などを経験したりで心労が絶えないが、良き先人や友人に恵まれて仕事にも恵まれて三度目の年男を迎える。

話は少し脱線してしまうが、私の遊びはタイニング

ブックを参考にして毛駒(本のそれとはまるで違う不恰好な一品)を巻き誰もいない山に分け入りテントを張って、ただ何もせず過ごしたり・寝たり・溪流魚を釣る事を快樂とし、もう三十年程続けていて、暇ができるとバッグバックを車に放り込み、体を使い頭を休める事を趣味としていて仕事の事は積極的に忘れることにしている。

私は時々他社の現場へ足を踏み入れることがある。何処の現場でも見るほどの価値のない仕事があり、がっかりすることが多い。最近では訓える側も単価に押されて丁寧な仕事をしなくなったのか、どうせ隠れてしまう物なので手を抜いているのか……。

教えられる方も、根気がなくなり自分の想い通りにならないと直ぐに「マスメディアに洗脳されたように」「キレタ」を連発している。長い年月の中の三年間、まず我慢という事を覚えて欲しい。

私は以前教えてもらったように採算にとらわれず、丁寧な仕事をしてお客様に喜んでいただくように後進の指導に当たっている。

四十五歳の声を聞くと仕事で残業の折など、気持ちには仕事の方へ行っているのだが、眸と眼がついていかない、まだまだ若いつもりが、この頃は腹も大きくなり、目も疎くなって、細かい活字を読むときなどは老眼鏡を愛用する立派なおじさんになってしまった。

今年は四十八歳……、約半世紀という若い人には気の遠くなるような長い歳月のようだが過ぎてみればあまりにも短いように感じられる時間です。

今振り返れば、あんなにも沢山の時間が有ったにもかかわらず「今まで何をしていたのだろう」と、自分の小ささを実感させられる歳月だったと思う今日この頃です。

年男にあたって!

鈴鹿支部(S28年生)

儀賀 正美

私が会社を興した当時、日本経済はバブル経済の中で建設ラッシュなどを背景に好況期にありました。今、日本経済は長引く不況から未だに脱却する事ができず、先行き不透明感で推移しています。そんな中、日本社会環境も電気工事業の実情も大きく変わってきました。しかし、日本社会の構造的な変革期を迎え、従来の工事に加えてIT社会の進展の中、通信関連などの新しい需要が拡大していくと思われれます。又、顧客のニーズに合わせた提案型の営業が必要になってくる。

この様に社会が大きく変化する中で、今後生き残る為には、将来の方向性を築き発想転換を図りながら、一段の努力を重ね、経営に取り組まなければならない年だと決意している。

抱負

亀山支部(S52年生)

長野 孝博

新年あけましておめでとうございます。

本年で二十四歳を迎え、新たな気持ちで、仕事に興味、スポーツに取り組みたいと思う。

それにはまず、今年の第一目標として電気工士の試験にチャレンジ!! 合格すること!! がんばるぞ!! 仕事はもろんのこと、時間をじょうずに使い少しでも勉強するよう努力する。

また昨年は良い伴侶めぐりあい結婚という人生最高のイベントも迎える事ができました。

身心ともリフレッシュし、前向きに、充実した毎日を送りたいと思います。



関係団体の表彰

つぎの方々が各関係団体から、晴れの表彰を受けられました。おめでとうございました。

平成十二年八月二十一日

中部通商産業局長表彰(電気保安功労者)

名張支部 福 森 誠之助

伊勢支部 大 辻 義 夫

桑名支部 森 川 利 次

平成十二年十月五日

三重県中小企業団体中央会長表彰(組合優良職員)

富田支部 早 川 道 子

桑名支部 渡 辺 尋 美

平成十二年十月十二日

消防設備保守関係功労者表彰(消防庁長官)

上野支部 山 本 猛 虎

事務局職員紹介

名張支部 桑門 昌子

九月より事務局職員としてお世話になっております。見る物、聞くこと、全て初めてのことばかりで戸惑いでしたが、持ち前の元気一〇〇%で、組合員さんに気軽に立ち寄っていただけること、また、何でも即答出来るよう頑張ります。よろしくお願い致します。

お問い合わせ先

三重県電気工事業工業組合
事務局

TEL 059-226-4862

FAX 059-226-4869

URL <http://www.ztv.ne.jp/miekoso/>

E-mail miekoso@ztv.ne.jp

▶ 会員異動のお知らせ ◀

前号以降の会員異動は下記のとおりです。名簿の追加修正をお願いします。(事務局)

支部	種別	コード番号	事業所名	代表者	住 所	電話番号	郵便番号	登録(届出)番号
名張	新規加入	31645	土岐電機	土岐 勲	名張市すずらん台東1-194	0595-68-6190	518-0401	12-113
志摩	新規加入	33472	仰出馬電機	出馬 孝	志摩郡阿児町鶴方2682-405	0599-43-1835	517-0501	届00-14
員弁	新規加入	34649	仰嶋田電気設備	嶋田利鷹	員弁郡東員町笹尾西2丁目21-13	0594-76-4915	511-0231	届00-10
津	新規加入	31143	エヌケーケー 総合設備	北口武徳	津市雲出本郷綱管町1番地	059-246-3460	514-0301	届86-22
大台	退会	32327	岡島電気工事店	岡島輝明	度会郡大宮町野原2810-1	05988-5-0598	519-2731	10-96
伊勢	退会	(協) 33032	河合無線	河合愛吉	伊勢市一之木2丁目3-4	0596-23-0111	516-0071	8-124
亀山	退会	34908	みゆき電気工業所	若林重夫	亀山市東御幸町41-4	05958-2-0928	519-0124	9-170
伊勢	承継加入	33168	オクノ電器	奥野美智江	度会郡小俣町元町412-3	0596-25-5880	519-0503	9-117
四日市	承継加入	34167	有竹電機	有竹憲治郎	四日市市貝家町69	0593-21-2258	510-0956	10-118
桑名	承継加入	34442	満仲電気工業所	満仲賢治	桑名市新町63	0594-22-7041	511-0048	8-57
上野	承継加入	31484	仰デンキの高田	高田裕嗣	上野市沖18-3	0595-37-0014	518-0103	9-30
四日市	承継加入	34140	仰ナニワ住設 サービ	坂元亮二	四日市市十七軒町9-3	0593-51-8735	510-0063	届57-29
伊勢	変更	33080	伊勢米穀企業組合	辻村榮生	伊勢市河崎1丁目9-24	0596-25-0806	516-0009	8-86
伊勢	変更	33114	仰伊豆電工	伊豆孝雄	伊勢市植山町512	0596-52-6346	515-0506	届88-9
四日市	変更	34112	共栄電機	倉橋裕一	四日市市高角町2257-1	0593-27-0727	512-0923	8-34
四日市	変更	34153	高瀬設備工業	高瀬善之	四日市市西日野町5686	0593-31-0948	510-0943	8-420
桑名	変更	(協) 34190	仰トーエネック 桑名営業所	岡田三郎	桑名市大字大福字市の坪678	0594-22-2095	511-0834	(届)大臣 4665
名張	変更	31627	キタガワ電工	北川博之	名張市平尾3141-7	0595-64-1509	518-0713	届94-11
松阪	変更	32179	真成電工	榎 真一	松阪市駅部田町817-5	0598-23-1470	515-0045	9-17
鈴鹿	変更	34744	近畿電設工業	廣田 隆	鈴鹿市木田町2551-1	0593-74-1091	513-0015	届460062
四日市	変更	34003	仰藤井電気商会 新浜店	藤井勝也	四日市市新浜町12-5	0593-33-0066	510-0024	届51-106